

2006年(平成18年)7月27日(木)晴れ 第2057回(当年度第4回)例会

点 鐘
司 会
ロータリーソング

会 長 大塚 祥敬君
SAA 熊澤 治夫君
「手に手つないで」
ソングリーダー 中島 仁君

会長挨拶

会 長 大塚 祥敬君

「クレオパトラはどんなタイプの美人だったか？」

「クレオパトラの鼻が、もう少し低ければ、世界の歴史は変わっていただろう」と言ったのは、17世紀の哲人パスカルです。「人間は考えるいっぽんの輩である」といった言葉でも有名な人です。プトレマイオス王朝(エジプトの国王)最後の女王クレオパトラ7世は、絶世の美女として知られているが、どんなタイプの美人だったかという、男性を骨抜きにしてしまう「魔性の女」タイプだったと見られる。それをシンボリックに物語るのが、次のエピソードです。紀元前47年のある夜、ローマ軍率いるカエサルのもとに、エジプトから豪華な贈り物が届く。その中に見事な絨毯があり、カエサルが広げてみたところ、薄絹をまとただけの裸同然のクレオパトラ自身が現れたのだ。彼女は当時22歳だった。夜中、健康な男性の前に、裸同然の美女が現れたら……………。

彼女はこうしてローマから祖国エジプトを守ったのだが、カエサルに取り入れたこの方法は、いかにも魔性の女らしい演出だった。またカエサル亡き後は、アントニウスを誘惑して再婚。またしても自分自身の美貌、肉体を利用してエジプトを守った。

彼女が、ローマの英雄を次々に骨抜きにしたのは、その雰囲気や話し声に魅力の源があったという説もある。後世の書物には、「周囲の者を香気で包む態度は強い刺激をもたらした。」「彼女の声には甘美さが漂い、その舌は多くの弦楽器のようだ。」などと、彼女の魅力が紹介されているのだ。しかも彼女はエジプト語やギリシャ語はもちろんのこと、多くの言葉を自由に操った。男性の祖国の言葉で甘くささやいたことも、英雄達を虜にしたにちがいない。もっとも、絶世の美女とされるクレオパトラだが、現実どんな顔をしていたかはよくわかっていない。彼女の彫像として伝わっているものはいく

つかあるが、どれが実物に近いのか、特定できないからである。また、「絶世の美女」と書いたのは、もっぱら後世の歴史家であり、比較的近い時期の1世紀から2世紀にかけて活躍した文人プルタルコスが、「彼女の美しさは、かならずしも比類なきものというほどではなく、見る人が驚くほどでは無かった。」と書き残している。

幹事報告 別紙 幹 事 安藤 喜代司君
祝 福 別紙 委員長 伊藤 靖祐君
出席報告 委員長 佐藤 文彦君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
53名	41名	6名	87.23%
前々回(7月13日)欠席者数 2名			
補正出席率 95.83%			

ニコボックス 委員長 松井 智義君
岩井良明さんの卓話よろしくお願ひします。

大塚 祥敬、鈴木健治、安藤喜代司、大池 武徳各君
○本日、卓話を担当させていただきます。禱長ります。

岩井 良明君
○佐藤さん、いつも楽しいDVDありがとうございます。

滝 勝夫君
○伊藤鶴吉先生と佐藤文彦さんのおかげであまロータリー

ークラブパスト会長の鈴木様と滝様とに施刃に来て頂き、楽しい手品を見せていただきました。ありがとうございました。

杉本君には夏祭りボランティアの手配ありがとうございました。 澤田 昌久君

岩井良明君の卓話楽しみにしています

栗本 務 岩田 俊久、佐藤 文彦 丹羽 雄三、
森 弘好、岩井 正彦 滝 勝夫、尾関 憲市、
熊澤 治夫、川崎 良一、松岡 一成 古田 嘉旦、
早川 正輝 富永 典夫、杉浦 賢二、稲山 赫己、
松井 智義、伊藤 靖祐、澤田 昌久、長谷川 優子、
中島 仁、片平博己、真鍋 勝彦、岩田 静夫、
杉本 哲一、石川 裕、猪子 明各君

卓 話 「子どもたちが夢と希望に満ち溢れるために」

- 今、私たち大人にできること -

岩井 朗君



私はここ三年ぐらい、全国の行政や学校に呼ばれて、各地で講演会をさせていただく機会が増えています。中でも各地の中学校・高校での講演はかなりさせていただいたのですが、その中で生徒たちの無気力さは目を覆うものがあります。語りかけても無反応、自分の言葉を持たない、人とコミュニケーションがとれない、など……。特に自身の将来に対する考え方は皆無といった状態です。確かに、社会・親・教師 様々な環境や人にも問題があるのだと思います。しかし、かといって我々大人はそれを嘆いているだけでいいのだろうか……。それが、私たちがこの事業に取り組むきっかけとなりました。

作家・村上龍氏の「十三歳のハローワーク」は、中学生になった子どもたちに「日本はこんな仕事があって、こんなにも楽しんで仕事をしているカッコいい大人がたくさんいるのだ」ということを伝え、大ベストセラーになりました。彼の考え方には共感できる部分が多いのですが、残念なことにその本の中味を本来知るべき中学生が購読層であったとは言えません。どうすれば、彼ら中学生に伝えることができるのだろうか。そんな中で私には一つの考えが浮かびました。文字でなく、リアルに。そう、本の中に登場するようなカッコいい仕事人の大人たちが「L I V E」で子どもたちに自分の言葉で語りかける。そんな機会を全国で増やしていきたい。

こうした発想で誕生したのが、恐らく日本で初の子ども対象講師/バンク『13歳のハローワーク L I V E!』です。これからの日本を担う子どもたちのために、我々には何ができるのか？ その答えのひとつがここにある気がしました。仕事には、社会的意義が必要です。我が社の理念「日本の未来を元気にする！」を実現するためのこの新規事業に当面全力を傾けたいと考えています。

- こんな記事を見つけました -

バングラデシュにろ過装置付き井戸計画

徳島南ロータリークラブ

7月25日付け徳島新聞より抜粋

国内外で奉仕活動に取り組む徳島南ロータリークラブ（鳥居邦男会長）が、ヒ素による地下水汚染が深刻な社会

問題となっているバングラデシュに、ろ過装置付きの井戸百カ所を無償で設置する。祖国の窮状を訴える県内在住の留学生の願いに応え、「安全な水を贈ろう」と計画した。九月に鳥居会長と国際ロータリー第2670（四国）地区の飯忠悟ガバナーら七人が現地を訪れて贈呈式を行う。

バングラデシュでは、一九九三年に大規模な地下水のヒ素汚染が見つかり、現在は丘陵地を除くほぼ全土に汚染が拡大。国民の半数近くに健康被害が及んでいる。慢性のヒ素中毒患者は一万五千人以上に上り、皮膚病や内臓疾患、がんなどに苦しんでいる。

地下水を利用した大規模な農業開発が進み、地層中のヒ素が溶け出した地下水を井戸から大量にくみ上げたことが原因とみられている。被害拡大を防ぐには、安全な飲料水の確保が不可欠だが、ろ過装置付きの井戸は高価なためすべての人が入手できないのが実情。

ロータリーの財団から奨学金を受けて徳島大学大学院に留学しているシャリフ・ウディンさん（35）によると、約四十家族が暮らす故郷のクーシャットプル村では、安全な水が出る井戸は数カ所しかなく、朝から何十人もが列を作っているという。

そんな窮状をウディンさんら留学生から聞いた徳島南ロータリークラブが、ろ過装置付き井戸の寄贈を計画。徳島大の留学生や、寄贈を橋渡しするジャハンギルノギル大学教職員の出身地の十四の村に各三 - 十九カ所設けることにした。百カ所の井戸で三千人以上が安全な水を飲むことができる。

二十二日に徳島市内で行われた打ち合わせ会では、徳島大の留学生が「本当にありがたい。村人も井戸を心待ちにしている」と感謝の言葉を述べた。

鳥居会長ら一行は九月十五日に徳島を出発し、同十八日まで現地に滞在。首都ダッカにあるジャハンギルノギル大を訪れるほか、ダッカから西に約二百キロ離れたクーシャットプル村で贈呈式を行うことにしている。

井戸の設置費用は日本円で一カ所約一万六千円。現地への渡航費などを含めた費用約三百万円は、同クラブと国際ロータリー第2670地区が負担する。

同クラブ社会奉仕委員長の森本奈津子さん（44）＝会社役員、徳島市加茂名町庄山＝は「バングラデシュの平均寿命は約六十歳で、水問題が寿命に大きくかかわっている。国全体から見ればわずかな数だが、寄贈をきっかけに支援の輪が広がってほしい」と話している。

ちなみに、徳島南ロータリークラブの会員数は40名、そして森本奈津子さんは、会員歴1年7ヶ月というから驚きます。自動車修理会社の役員をしておられ、血液型はB型だそうです。ついでに血液型をウェブで探していたらこんな記事がありました。

「血液型性格判断で一番問題なのは、少数派を差別したり、相性とか性格を、きちんとつき合ってもせずつもりになってしまうことです。新規採用や特定のプロジェクトに参加する社員の選定に血液型を導入している企業もあるというのだから、あきれます。また、園児に血液型別に着色された帽子をかぶせ、血液型性格判断を教育に「生かしている」幼稚園があるそうです。恐ろしいことです。そのような教育は、子どもの可能性を著しく狭めるものであるにも関わらずテレビではそれなりに好意的に紹介されています」

いつものマスコミの無責任な発言では無く、血液型と性格は、スナックの女の子を相手に話すものだと思っていましたが、さて、皆さんは何を感じましたでしょうか。（澤田）

（担当：石川 裕）